

# 2017年度 徳島大学 (前期)

医学部

試験時間：120 分

 全問必答

**1** 数列  $\{a_n\}$  の初項  $a_1$  から第  $n$  項  $a_n$  までの和  $S_n$  が次を満たす。

$$a_n + 2S_n = 3 \cdot 2^{n-1} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

- (1)  $a_{n+1}$  と  $a_n$  の関係式を求めよ。
- (2) 一般項  $a_n$  を求めよ。
- (3)  $S_1 + 3S_2 + 3^2S_3 + \dots + 3^{n-1}S_n$  を求めよ。

**2** 複素数平面上で、原点  $O$  と異なる点  $A(\alpha)$  をとり、単位円周上に点  $B(\beta)$  をとる。複素数  $\alpha, \beta$  は  $\arg \alpha - \arg \beta = \frac{\pi}{2}$  を満たし、さらに  $\alpha + \beta$  は実数でないとする。

- (1)  $\beta$  を  $\alpha$  と  $|\alpha|$  を用いて表せ。
- (2) 線分  $AB$  の垂直二等分線と直線  $OA$  との交点を  $C(\gamma)$  とするとき、 $\gamma$  を  $\alpha$  と  $|\alpha|$  を用いて表せ。
- (3)  $\angle APB = \frac{\pi}{2}$  を満たす原点と異なる虚軸上の点を  $P(z)$  とする。 $z$  を  $\alpha, \bar{\alpha}$  と  $|\alpha|$  を用いて表せ。ただし、 $\bar{\alpha}$  は  $\alpha$  と共役な複素数である。

**3**  $n$  を 2 以上の自然数とする。媒介変数  $t$  を用いて  $x = \cos^n t, y = \sin^4 t \left(0 \leq t \leq \frac{\pi}{2}\right)$  と表される  $xy$  平面上の曲線を  $C_n$  とする。また、 $t = \frac{\pi}{3}$  に対応する点における  $C_n$  の接線を  $l_n$  とする。曲線  $C_n$ , 接線  $l_n$  および  $y$  軸で囲まれた部分の面積を  $S_n$  とする。ただし、 $C_n$  と  $l_n$  の共有点が 1 個であることを証明なしで用いてよい。

- (1) 接線  $l_n$  の方程式を求めよ。
- (2)  $S_2$  を求めよ。
- (3)  $\lim_{n \rightarrow \infty} 2^n n S_n$  を求めよ。

**4**  $n < m$  とする。白玉  $n$  個と赤玉  $m$  個が入っている袋から  $n$  個の玉を同時に取り出す。このとき、 $k = 0, 1, 2, \dots, n$  に対して、白玉がちょうど  $k$  個出る確率を  $p_k$  とする。

- (1)  $n = 2, m = 3$  のときに、 $p_0, p_1, p_2$  を求めよ。
- (2)  $n \geq 6$  とする。 $p_5 = p_6$  が成り立つような組  $(n, m)$  の中で  $n$  が最小となるものを求めよ。
- (3)  $n \geq 3$  とする。 $k = 0, 1, 2, \dots, n$  に対して、 $d_k = \left| \frac{n}{n+m} - \frac{k}{n} \right|$  とする。 $d_2 > d_3$  および  $p_2 > p_3$  が同時に成り立つような組  $(n, m)$  の中で  $n$  が最小となるものを求めよ。

## 2017年度 徳島大学 (前期)

医学部

(略解)

☞ 証明, 図示などは省略

**1**

(1)  $a_{n+1} = \frac{1}{3}a_n + 2^{n-1}$

(3)  $\frac{6^{n+1} - 5n - 6}{25}$

(2)  $a_n = \frac{3}{5} \cdot 2^{n-1} + \frac{2}{5} \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}$

**2**

(1)  $\beta = -\frac{i\alpha}{|\alpha|}$

(3)  $z = \frac{-i(\alpha + \bar{\alpha}) + |\alpha|(\alpha - \bar{\alpha})}{2|\alpha|}$

(2)  $\gamma = \frac{|\alpha|^2 - 1}{2|\alpha|^2} \alpha$

**3**

(1)  $y = -\frac{3 \cdot 2^{n-2}}{n} x + \frac{3}{4n} + \frac{9}{16}$

(3)  $\frac{3}{8}$

(2)  $S_2 = \frac{1}{192}$

**4**

(1)  $p_0 = \frac{3}{10}, p_1 = \frac{3}{5}, p_2 = \frac{1}{10}$

(3)  $(n, m) = (9, 23)$

(2)  $(n, m) = (17, 35)$